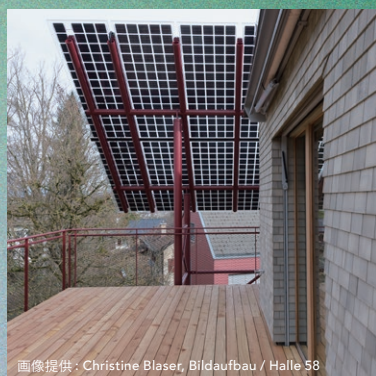


オンライン開催 エコバウツアー・ウェビナー 2026

欧州の建築を リモートで 読み解く 2日間

毎年、欧州の建築や建築文化を現地で体験する「エコバウツアー」。今年は現地ツアーに代わり、欧州の専門家とオンラインでつながり、これからの建築を考える2日間です。



スイス・オーストリアの環境建築を学ぶ

開催日

2026. **11.4** **WED**・**5** **THU**

参加費用

1DAY PASS 1,000円 **2DAY PASS 1,800円**
11/4・5のどちらか参加 11/4・5の両日参加
※アーカイブ配信・配布資料ダウンロード付き

お申込み方法

参加ご希望の方はQRコード
または下記のURLより
お申込みください



<https://ecobauweb2026.peatix.com/>

1日目

2026. **11.4** **水** 16:00-17:00

リノベーションから始まる スイスの環境建築

「スイスの基準と実践から考える“建てる”だけではない建築の未来」
欧州では、環境性能だけでなく、社会、文化、経済、地域との関係などを
含めて建築の質を総合的に捉える考え方が広がっています。本講演
では、「ダボス建築文化クオリティ・ルール」の8つの視点を紹介。
ベルリンの「Haus der Statistik」の再利用や、ベルンで既存の戸建
住宅を3戸の住宅へ改修した事例を通して、既存の建物や地域の
価値を活かす建築のあり方を考えます。

講演者 **ペーター・シュルヒ教授**
ベルン州立大学(スイス)建築・木造学部教授



建築家。ベルン州立大学建築学部卒業。1990年に建築設計事務所
Halle58を設立。集合住宅、戸建て、改修、公共建築などを手がけ、持続
可能な建築に取り組む。現代木造、ソーラー建築、継続建築、歴史的建
築の改修などを手がける。1998～2023年にはベルン州立大学で教鞭
を執り、持続可能な建設課程などの代表を務める。木造ハイブリッド
集合住宅「Arborea」などを手がけ、建築・環境関連賞を多数受賞。

講演後の講評・コメント 東北芸術工科大学教授/『みかんぐみ』共同代表 **竹内 昌義氏**

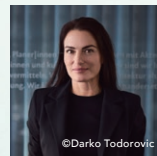
2日目

2026. **11.5** **木** 16:00-17:45

「木造が地域社会を変える」 オーストリア木造建築最前線

「地域社会の持続可能な発展に貢献する建築文化の実践」
オーストリア西端のフォアアールベルク州は、現代建築のモデル地域と
して知られています。本講演では、環境、社会、地域の職人技、デザイ
ンを融合させてきた建築文化を、具体的な事例とともに紹介します。
「BUS:STOP Krumbach」や伝統的なこけら葺きを取り入れた建築な
ど、地域の資源や技術を活かす建築の可能性を考えます。地域との関
係にも目を向けます。

講演者 **ヴェレナ・ヤコーベック=コンラート博士**
フォアアールベルク建築研究所 vai 所長



オーストリアの美術・建築史家。インスブルック大学で博士号を取得
し、同大学およびリンツ芸術大学で講師を務める。2025年には
ウィーン工科大学の客員教授を務めた。2013年よりフォアアールベ
ルク建築研究所 vai の所長を務め、建築や建築文化をテーマに、講
演、出版、展覧会、ワークショップなど幅広い活動を展開している。
建築を専門家だけのものとして、地域社会や一般市民に開かれた
テーマとして伝えながら、フォアアールベルク州の建築文化の振興に
取り組んでいる。

※本ウェビナーはオンラインでの開催となります。※講演内容・時間などは変更となる場合があります。

詳細は裏面をご覧ください

主催・運営 株式会社イケダコーポレーション

お問合わせ ☎0120-544-453

✉info@iskcorp.com [担当] 森

後援 SJS スイス-日本サステナビリティ交流会

Ikeda
CORPORATION

ひとと環境にやさしい住まいづくり
株式会社イケダコーポレーション

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4-8-28 FJビル3F
営業所 | 東京・仙台・名古屋・福岡 TEL: 0120-544-453



欧州では、気候変動を背景に建築のあり方が大きく変化しています。環境負荷の低減に加え、資源や既存建築、地域社会とのつながりも重視されています。本ウェビナーでは、EU・スイスの最新動向と、フォアアールベルク州の建築文化を現地の専門家が紹介。欧州の実践から、これからの建築で何を選び、どう活かすのかを考えます。

1
日目

2026. **11.4** 水
16:00-17:00

リノベーションから始まる スイスの環境建築



出典: <https://davosdeclaration2018.ch/>



画像提供: Christine Blaser, Bildaufbau / Halle 58

スイスの基準と実践から考える“建てる”だけではない建築の未来

欧州では、環境性能だけでなく、社会、文化、経済、地域との関係などを含めて建築の質を総合的に捉える考え方が広がっています。本講演では、「ダボス建築文化クオリティ・ルール」について、環境、機能、経済、地域性、景観や美しさなど8つの視点から建築やまちの質を捉える考え方を紹介するとともに、欧州の環境建築の先進的な事例として、ベルリンの「Haus der Statistik」の再利用や、ベルンで既存の戸建住宅を3戸の住宅へ改修した事例を紹介しします。

既存の建物や地域が持つ価値を活かし、建て替えだけに頼らず新たな価値を生み出す考え方を、日本の住宅・建築にどう取り入れられるのかを考えます。

講演者 **ペーター・シュルヒ教授**
ベルン州立大学（スイス）建築・木造学部教授

建築家。ベルン州大学建築学部卒業。1990年に建築設計事務所Halle58を設立。集合住宅、戸建て、改修、公共建築などを手がけ、持続可能な建築に取り組む。現代木造、ソーラー建築、継続建築、歴史的建築の改修などを手がける。1998～2023年にはベルン州立大学で教鞭を執り、持続可能な建設課程などの代表を務める。木造ハイブリッド集合住宅「Arborea」などを手がけ、建築・環境関連賞を多数受賞。



講評・コメント 日本の建築から考える、これからの選択

竹内 昌義氏

1962年神奈川県生まれ。建築家。
東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科 教授
『みかんぐみ』共同代表、エネルギーまちづくり社 代表取締役

1985年 東京工業大学工学部建築学科卒業。
1988年 東京工業大学大学院理工学専攻建築学専攻修士課程修了。
2001年 - 東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科助教授
2008年 - 同大学教授。

2
日目

2026. **11.5** 木
16:00-17:45

「木造が地域社会を変える」 オーストリア木造建築最前線



©Darko Todorovic
クルムバッハ村の「BUS:STOP Krumbach」プロジェクト

地域社会の持続可能な発展に貢献する建築文化の実践

オーストリア西端のフォアアールベルク州は、現代建築のモデル地域として国際的に知られています。本講演では、環境への責任、社会的要請、地域の職人技、そして高いデザイン性を融合させてきた同地の建築文化を、具体的な事例とともに紹介します。小さな村のバス停「BUS:STOP Krumbach」や、伝統的なこけら葺きを取り入れた建築など、地域の資源や技術を活かした事例を通して、建築が地域の価値や産業を育てる可能性を紹介します。

講演者 **ヴェレーナ・ヤコーベック＝コンラート博士**
フォアアールベルク建築研究所 vai 所長

オーストリアの美術・建築史家。インスブルック大学で博士号を取得し、同大学およびリンツ芸術大学で講師を務める。2025年にはウィーン工科大学の客員教授を務めた。2013年よりフォアアールベルク建築研究所 vai の所長を務め、建築や建築文化をテーマに、講演、出版、展覧会、ワークショップなど幅広い活動を展開している。建築を専門家だけのものにとせず、地域社会や一般市民に開かれたテーマとして伝えながら、フォアアールベルク州の建築文化の振興に取り組んでいる。



農家が運営する農家を改修した学生寮 Ernas Haus

お申込みは
こちらから

参加ご希望の方はQRコードまたは
下記の URL よりお申込みください
<https://ecobauweb2026.peatix.com/>



ひとと環境にやさしい住まいづくり
Ikeda
CORPORATION 株式会社イケダコーポレーション
〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4-8-28 FJビル3F
営業所 | 東京・仙台・名古屋・福岡 TEL: 0120-544-453

